

重症化する人を

見逃さないこと

新型コロナウイルスは「指定感染症2類相当」となっており、軽症者も入院させますので病院のベッドが足りなくなり、重症化した人のいのちを守る事ができなくなり医療がひつ迫します。

症状がある人で1週間か2週間で重症化することがあるのでそれを見逃さないことです。重症化したときには酸素吸入、人工呼吸器、人工心臓という形で適切な治療法が決まってきたいます。無症状の人は治療がな

くても治っていきます。

適切な医療が受けられる、今はそれさえない状況にあります。医療が受けられる体制のためには、無症状者を入院させる今の扱いを変えていかないといいと思います。家族のなかで罹らないような環境に、家族内でも対策をする教育で感染を防ぐことができます。

新型コロナウイルスに罹らない予防が大事

コロナでマスクや手洗いをしっかりと風邪で罹る患者さんが少なくなり、

クリニックの売り上げが減少しました。病院にどれぐ

らいの打撃があったかは愛知県保険医療協会で調査されています。患者さんが少ないということは医療者として喜ぶべきことです。

新型コロナウイルスは、8割の人は無症状、1割が軽症の患者さんであり、重症化する人は少ないというところをしっかりと認識することです。新型コロナウイルスという病気を正しく認識し、新型コロナウイルスに罹らない予防が大事です。行動を起すたびにアルコールなどで手指消毒する、「目がかゆい」、「顔がか

ゆい」と行動を起こすとき

手指消毒が最大限の防止対策になります。それからソーシャルディスタンスと換気です。車などに同乗するときは窓を開け、換気すること。食事でも距離と換気が大事で、そのような環境をつくることだと思います。

医療、介護、保育の現場で働いている人たちのバッシングや批判があります。エッセンシャルワークで働いている家庭のお子さんに「保育園来ないで」とか、介護現場でクラスターが起きた時に冷たい目でみることは絶対に避けたいといけ

ません。

コロナは怖い病気でない、8割の人が無症状ですぎています。高齢者や免疫の落ちている人、基礎疾患のある人にうつさないための新しい生活様式を守っていただくことが大事です。誰でもかかる可能性があります。

生活保護が堂々と受けられるように

私が理事長をしているNPO法人「ささしまサポーターセンター」では生活困窮者向けの炊き出しに私も毎週参加していますが、ボラ

第8回代表世話人会報告

情勢懇談から

(1) コロナ禍で見えた定員不足——全国的に保健所統廃合の中、名古屋市は16区の保健所を守った。名古屋市衛生研究所は昭和区から守山区志段味の不便な所へ移転。市は感染者が増えている。PCR検査が十分受けられる状態にない。名東区役所で職員が襲われる事件が起こった。徹底した人員削減、丁寧なサービスが不足、それでも市はさらなる人員削減を求めている。

(2) 有効なコロナ対策が打てない安倍政権——コロナの第2波を抑制する策が打てない。来年のGDPも25%以上減る予想。厳しい現実があるのに安倍政権は国会を閉じたまま、記者会見を逃げ回っている。どの世論調査でも支持率は下がり続け、感染拡大で首相は指導力を発揮していないが6~7割。GoToトラベルを評価しないが7~8割。

(3) 市民と野党の共闘が求められる——来年の秋までには総選挙がある。4区は野党がこぞって街宣、政策を練り上げている。立憲民主と国民民主の合流や維新の動きなど。「市民と野党をつなぐ会」で統一の方向が探られている。

(4) コロナ禍で革新懇運動の課題が鮮明に——世話人会(7/25)の総括がされ、40周年を迎えて改めて革新懇運動の課題がはっきりした。10月11日、シンポでさらにテーマを追求することを確認した。

(5) 河村市長らによる「大村知事リコール運動」のめざすもの——コロナ感染が拡大する中で河村市長らは、総選挙への思惑をめぐしてリコール運動をすすめている。減税・河村市長は維新の会と連携して総選挙での勢力拡大・河村市長の衆議院出馬をめぐしている。コロナをないがしろにしているのかの訴えが重要。

当面の取り組み

(1) 安倍改憲阻止——◎「憲法新署名」推進・学習交流会(渡辺治一橋大名誉教授)9月8日(火)18時半から労働会館東館ホール◎「違憲の安保法制を廃止し立憲主義の回復を求めるあいち集会」9月19日(土)13時半、白川公園

(2) 「表現の不自由展・その後」を口実とした大村知事リコール反対市民集会9月6日(日)14時~16時 光の広場

(3) コロナ後の革新懇運動を求めるシンポ10月11日(日)13時半 労働会館本館1~3会議室

◎次回代表世話人会 9月17日(木)14時~

支援の詳細

<https://www.sasashima.info/donation/>

表現の自由を守れ

歴史改ざん許さない!

大村知事リコール

反対市民集会

ぜひ参加を

9/6(日) 止めよう!
「表現の不自由展・その後」を理由とした

大村知事へのリコール反対!

14時集会開始
15時10分デモ発

市民大集会&デモ

集会内容
・川口代表
・メッセージ
・大村知事へのリコール反対!

光の広場

大村知事へのリコール反対!

09-2046-3968 resumetochi@nifty.com
「表現の不自由展・その後」をつげける愛知の会

憲法21条は表現の自由を保障しています。2017年法改正の「文化芸術基本法」は「表現の自由」が法文を明記し、国と自治体の責任者は「表現の自由」を守る立場が義務付けられています。

河村たかし名古屋市長がリコール運動の先頭に立っているのは重

大です。

表現の自由を脅かし、歴史の事実を歪めるリコール運動に大義はありません。

近ごろ
思う
こと

58

北川 善英さん

(横浜国立大学名誉教授、愛知淑徳大学非常勤講師)



みんなはどう思う?

——若者の意識
構造と学校教育

コロナの時代 求められる対話と連帯
戦争より平和 いのちと暮らしを

違憲の安保法制を廃止し、
立憲主義の回復を求める
2020あいち集会

日時 9月19日(土)
13:30スタート
13:30~オープニング企画
14:00~15:00 集会
15:15~16:15 パレード出発

会場 白川公園

主催

違憲の安保法制を廃止し、立憲主義の回復を求める2020愛知集会実行委員会

後援

愛知県弁護士会



最近の若者の意識構造の特色について、保守化(現状維持)、社会的・政治的問題への無関心、批判への嫌悪感(批判II悪口)が指摘されることが多い。また、情緒的、閉鎖的、小集团的、刹那(快楽)的、自己中心的といった傾向が指摘されることもある。

彼らの社会生活の大部分を占めてきたのは学校教育である。若者の意識構造の形成に、些細なようだが本質的な影響を与えていると考えられ点を上げたい。

② “みんなは?” という教員の問いかけである。英語圏(You)・仏語圏(Vous)であれば、個々人に対する問いかけが根底にある(あなた・たち)。日本語の“みんな”には、全員(we)かつ共通の目的の答えというニュアンスが強く、個々人の自律や自主性というニュアンスが弱い。さらに、団結心や一体感を強調する日本の集団主義的な学校文化が、それを後押ししている。

憲法の基本的価値である“個人の尊重”を、“個人”の質的内容においても①、“個人”形成のあり方においても②、学校教育が、無意識のうちに一定の方向へ誘導する役割を果たしているのではないだろうか。

★北川善英さんは16年3月号インタビューに登場。「立憲主義を取り戻す!民主主義の実現へ」と語っていただきました。